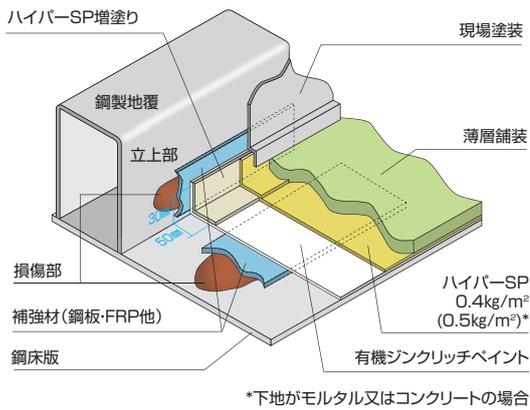


HYPER SP For Footbridge



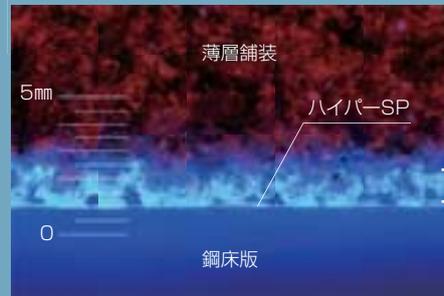
歩道部・階段部補修・防水方法

■歩道部（鋼床版）



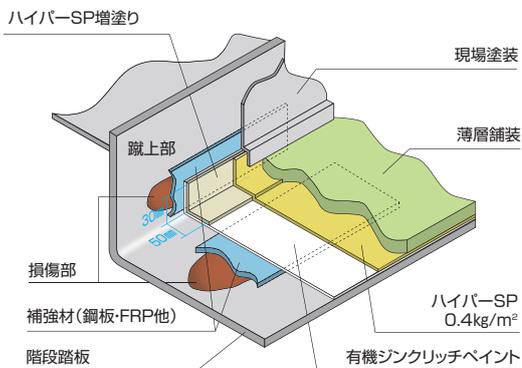
ハイパーSP 硬化特性

ハイパーSPは時間の経過とともに硬化反応が進み、塗布後の状態が液体(Aステージ)→半硬化(Bステージ)→硬化(Cステージ)へと変化します。
また、塗布後の養生温度が高いほど硬化反応が促進され、A・B・Cステージまでの進行時間が短くなります。

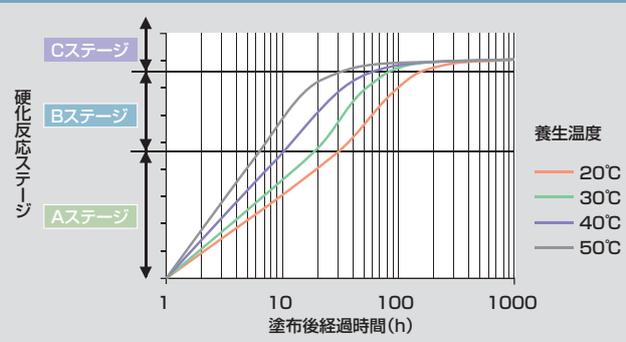


エポキシ系薄層舗装とは親和性が高く、Bステージ以降も高い接着力を発揮します。

■階段部



■硬化反応ステージ(A・B・C)と養生時間の関係



■硬化反応ステージの特性

硬化反応ステージ	硬化反応の状態	舗装材料との接着機構
Aステージ	液体	硬化反応による接着
Bステージ	半硬化	接触熱(70℃以上)による再熔融接着
Cステージ	硬化	接触熱(140℃以上)による再熔融接着

Bステージではアスファルト舗装の舗装熱相当により再熔融
Cステージではグースアスファルト舗装の舗装熱相当により再熔融

※ハイパーSP塗布後、硬化反応ステージがB及びCに進行後、薄層舗装の舗装を行います。

